

# YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

Rotary  
横浜旭ロータリークラブ



UNITE  
FOR  
GOOD  
よいことのために手を取りあおう



ガールスカウトとクリーン作戦

2025-26年度 RI 会長／フランチェスコ・アレツォ  
RI.D2590ガバナー／大塚 正一  
横浜旭RC会長／五十嵐 正



第12回 チャリティコンサート



防災先進国イタリアに学ぶ講演会開催

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33／〒241-0836  
TEL.080-1215-6668／FAX.045-362-0024  
http://yokohamaasahirc.cho88.com  
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川駅ジョイナステラス3／4Fコミュニティサロン  
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2025年11月19日 第2598回例会 VOL.57 No.15

■司 会 SAA 北澤 正浩

■開会点鐘 会長 五十嵐 正

■出席報告

会員数	20名	本日の出席数	14名
本日の出席率	73.68%	修正出席率	94.74%

■本日の欠席者

草柳、中谷、佐藤（真）、関澤、宋、

■11月皆出席祝

関口会員 1年

■会長報告

五十嵐 正

皆さん、こんにちは。本日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。

先日の地区大会ではお世話になりました。地区大会でRI会長代理の若林さんのスピーチが心に残ったので短くご紹介させていただきます。

盲目の人が象の一部を触って特徴を語った寓話があります。

足に触れた人は「柱のようだ」、鼻に触れた人は「チューブのようだ」と言いました。見ている部分は違っていても、全体を見れば一つの“象”です。クラブも同じです。

私たちは立場も考えも違いますが、目指す“山”、つまりロータリーの目的と理念は共通しています。だからこそ部分だけで判断せず、全体像を共有し、互いに学び合うことが大切です。

ロータリーは毎年役員が交代する組織ですが、変わらない本質があります。

理念を実践し、人格を磨き、育て合い、奉仕のために行動し、国際理解と平和を目指す——この精神は時を越えて続きます。

ときには上手くいかないこともあります。しかしロータリーは変化を恐れず、より良い方法を探し続ける組織です。失敗ではなく、時代に合わせた前進のプロセスです。うまくいかなければ、またやり直せばいいのです。

私たちは単年度制でありながら、3年の目標を共有し、リーダー同士が協力して進んでいきます。だからこそ、過去の形式にとらわれず、希望と志に満ちた言葉を大切にしていきたい。次の語り手を育てることこそ、ロータリアンとしての大きな奉仕だと思います。

友情を大切にしながら、柔軟に学び、改善し続け、次の世代へロータリーをつないでいきましょう。これからも共に、ロータリーの意味を語り合っていきたいと思います。

以上のお話の趣旨をご紹介させていただきます。

■幹事報告

関口 大樹

▷岩沼 RC からお礼状が届きました。

▷R 財団奨学生募集開始のお知らせ

2025-26 年度

## 第 9 回 理事役員会議事録

■日時 25 年 11 月 5 日 13 時 30 分 ■出席者 北澤、安藤、目黒、佐藤勉、新川、五十嵐、  
(敬称略) 関口 (書記)  
■場所 例会場 ■欠席者 岡田、福村

### ●議題【報告事項】

#### 【審議事項】

- 1、 岩沼クラブの 60 周年記念事業に対して、協賛の依頼について。資料別紙  
10 万円を 60 周年記念事業協賛として承認
- 2、 クリスマス例会について。  
現状の申し込み状況の説明を受ける。
- 3、 ラミレス講演会、運営及び集客方法について。  
講演会用に新たに特別実行委員会を作る。  
人選は会長一任。  
ラミレス体験例会実行委員会  
委員長／市川慎二 委員／佐藤真吾、関澤信吾、中谷逸希、草柳孝広



国際ロータリー第 2590 地区  
横浜旭ロータリークラブ  
会長 五十嵐 正 様

初霜の候 ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、  
厚く御礼申し上げます。

この度は当クラブ支援事業に対しまして、ご理解とご協力を賜わりありがとうございます。  
心より御礼申し上げます。

お陰様で障害児支援施設『すぎのこ学園』へクリスマスプレゼントを届ける事が出来  
ます。園長先生から 12 月 19 日 (金) に予定しております、「クリスマスお楽しみ会」  
にて贈呈式・披露式へ、参加依頼を頂きました。

年末でお忙しいとは存じますがお時間が許されるなら是非、会長様、幹事様のご参加い  
ただけないでしょうか。

11 月に入り寒さも厳しくなってきましたが、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りい  
たします。

記

日時 2025 年 12 月 19 日 (金) 午前 11 時より

場所 岩沼市南プラザ内  
岩沼市桑原 4 丁目 6-70

以上

2025 年 11 月 12 日  
岩 沼 ロータリークラブ  
2025-2026 年度 会 長 鯨岡 一志

### ■ニコニコ BOX

中島 徹／本日は 3 カ年プロジェクトよろし  
くお願いします。

岡田 隆／例会に出席出来ない事が多くなり  
申し訳ございません。本日 3 カ年プロジェクト  
の卓話宜しくお願いします。

安藤 公一／本日の 3 カ年委員会、宜しくお願  
いします。

五十嵐 正／本日は 3 カ年プロジェクトについ  
て、皆様のご意見を伺いたいと考えております。  
よろしくお願いします。

### ■3 カ年プロジェクト／五十嵐 正

皆さま、本日はお集まりいただきありがとう  
ございます。

今日は、私たちの三ヶ年プロジェクトを改め  
て一緒に振り返りながら、これから地域のみな  
さんとどうつながっていくかを、ゆっくり考え  
る時間にしたいと思っています。

#### ▷ 1. 三ヶ年プロジェクトを始めた理由

地区からの指示で三ヶ年プロジェクトを立ち  
上げるにあたり、横浜旭が長く取り組んできた

「防災」を軸にしよう、と考えました。

災害が続く中、私たちは毎回「地域の助け合いが何より大事だ」ということを痛感してきました。

旭区も高齢化が進み、「いざという時、誰が誰を支えるのか」という課題は避けて通れません。

そこで、私たちは“ロータリーとして地域と一緒に防災の力を育てていく”という思いを共有し、この三ヶ年プロジェクトを始めました。

防災をきっかけに、人のつながりをもう一度あたため直したい—そんな願いも込めています。

▷ 2. これまでの歩みを簡単に振り返ると皆さまのご協力で、一步步着実に進んできました。

災害時に温かい食事を届ける仕組みを探るため、イタリア TKB について情報収集をしていること。

日常使いと防災頭巾を兼ねた「防災エコバッグ」の試作を始めたこと。

就労支援施設の力を借りて、地域で循環する仕組みを検討し、共生社会の一つの形を模索していること。

笹野台町内会のご協力をいただき、地域連携の第一歩が生まれたこと。

フォルテ祭や区民まつりでアンケートを実施したこと。

どれも小さな一歩ですが、こうした積み重ねこそ、この三ヶ年プロジェクトの大切な土台になっています。

▷ 3. 今年後半は“地域に開く年”

今年の後半は、私たちの活動を地域に開いていくことをテーマにしたいと考えています。

ロータリーだけで完結するのではなく、地域の皆さんと一緒に育てる活動へと広げていきたいと思っています。

その最初のきっかけとなるのが、今回の防災エコバッグのアンケートです。

これは決して「商品の評価」を集めるためだけではありません。

住民の声を知る企業にとっては CSR のきっかけに町内会にとっては地域サービスに私たちにとっては“協力をお願いするための材料”につまり、地域との対話を始める入口という位置づけです。

▷ 4. 今日お願いしたいことは 2 つ

① 三ヶ年プロジェクトの趣旨・方向性をあらためて確認したいこと方向性が一致していると、外部への協力依頼もしやすくなります。

今の方向で良いのか、皆さまのご意見を伺いたいと思います。

② アンケートを活かして、地域企業や町内会にどう協力依頼していくか企業が動きやすくなる声掛けとは？

町内会にとって協力しやすい形は？

誰に・どんな順番でアプローチするのが自然か？

今日はアイデア出しというより、実際に動くための道筋を一緒に考える時間にしたいと思っています。

▷ 5. 最後に

防災は誰にとっても身近で大切なテーマです。だからこそ、地域の方々が自然と参加できる仕組みに育てていきたいと考えています。

三ヶ年プロジェクトはクラブ全員でつくる活動です。

皆さまのご経験や人脈、ふとした気づきが、大きな力になります。

どうか気楽に、前向きに意見を交わしていただければ嬉しいです。

それでは皆さまのお考えをお聞かせください。どうぞよろしくお願いいたします。

▷ ご意見の多かったキーワード

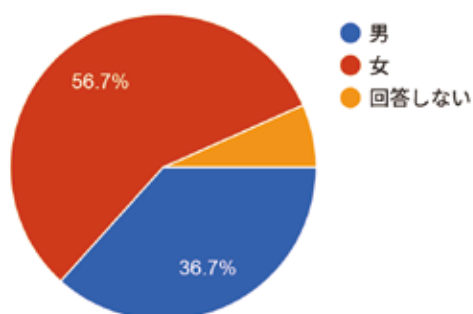
量産に向けた分業への模索・TKB への協力は？・ストーリー性の意味合い・防災機能対策・ネーミング・増強へ結びついていない・学校関係へのアプローチ etc

■次週例会

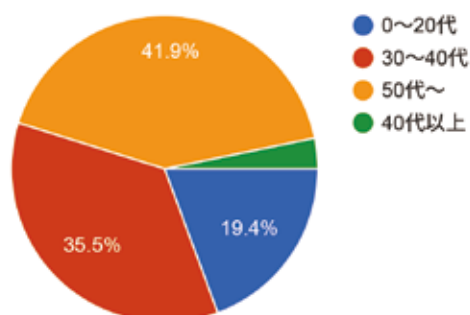
12 月 10 日 卓話 二川達也様（戦術航空士）

# 防災エコバッグ モニターアンケート（31 件）

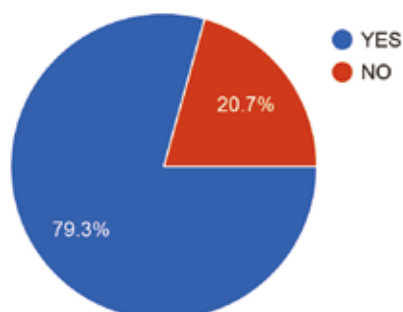
## 1、男女比



## 2、年代



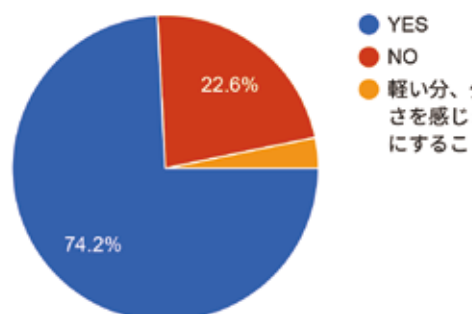
## 3、エコバックとして使う？



NO と回答いただいたか方どこを改善すれば使いますか？  
 (例：デザイン、機能など) 8 件の回答

- ・もう少し大きいのが
- ・防災バッグとしてなら可能性あり
- ・EXPO2027 とコラボしてロゴが入るとグッズにもなってさらに良さそうです。
- ・エコバックにしてはかさばる。
- ・もう少しコンパクトにしてもらえたらいいが。
- ・デザインを改良
- ・エコバッグはもっとコンパクトかつデザイン性を重視したい。
- ・布地を厚くするとよい。
- ・持ち歩きにくいし小さい

## 4、防災頭巾として使う？



防災頭巾として使えそうですか？ 31 件の回答

NO と回答いただいた方、どこを改善すれば使いますか？  
 9 件の回答

- ・軽い分少し頭巾としては、ものたりなさを感じました。
- ・もう少し後頭部を厚手にすることができれば安心です。
- ・薄い頭をまもれない
- ・素材もう少しアツメがよい
- ・クッションがもう少し厚いもの、かつ、防火布など使用して欲しい。
- ・生地を厚めに、リフレクター（反射素材）で縁取り、汚れが目立たないように、肩掛けもできるように紐を長く使えそうだけれど、被った時に取れにくいように接続部分の場所を下の方にして長さを調節できるようにしたら良いと思いました。
- ・まだ生地が薄いと思います
- ・布の厚さ、弾力
- ・防火 厚み
- ・薄いから頭を守ることが難しい、大きくして二重で使って欲しい